“笑顔と心のキャッチボール”

～一宮市立朝日東小学校～

朝日東小学校では年に3回、児童会・金管バンド部・2年生・5年生で老人ホーム朝日荘に訪問しています。その時、学校のみんなで千羽鶴を作ってプレゼントしたり、ホームのみなさんと一緒に歌を歌ったり、ゲームをして、短い時間ですが楽しいひとときを過ごしています。ホームのみなさんの楽しそうな笑顔を見ていると、心と心が通じ合うような気がします。（児童会会長　服部清隆くん）

金管バンド部の歌と演奏に、おじいちゃん、おばあちゃんが一緒に歌ったり、手拍子をしながら楽しそうです。

じゃんけんゲームで、負けたら肩たたきをします。気持ちよさそうですね。

私は11月18日に運営委員のみなさんと一緒に朝日荘へ行き、おじいちゃん、おばあちゃんが“イキイキ”した顔で歌ったり、手拍子をしたり、子ども達から“肩たたき”の贈り物をもらったり、逆に子ども達の頭をなぜてあげたりと、短い時間でしたが、楽しそうで良かったと思いました。これからも朝日東小学校のみなさんには続けてほしいと思います。

ひとこと

～65歳って本当に高齢者？～

政府中央機関が昨年秋、1947～49年生まれの団塊の世代6,000人を対象に「何歳から高齢者と思うか」という意識調査をしました。約3, 500人からの回答を得た結果、70歳以上と回答した人が約80%に達しました。一般に高齢者といわれる65歳を迎え始めた団塊の世代の人たちは、自分を高齢者と感じていないようです。

この世代がイメージする高齢者とは、「70歳以上」が約43%と最も多く、「75歳以上」が26%、「80歳以上」が11%で合計80%となっています。一方で、「60歳以上」は2%にとどまり、「65歳以上」は11%、「年齢だけでは判断できない」が7%ありました。

日本人の平均寿命は、室町時代で30歳、江戸時代で45歳と言われ、平均寿命が50歳になったのは1947年のことで、奇しくも団塊の世代の出生年と一致しています。以後、平均寿命は急速に延び、男女総平均で2009年には80歳、2012年には83歳になりました。

出生から今日までの平均寿命の動向を見てきた団塊の世代のみならず、現在では、誰もが65歳を高齢者と呼ぶには抵抗感があるように思います。どう受け止めるかは個々の感覚ですが、長寿社会では「動ける内は高齢者にあらず」位の気概を持つことが大切だと思います。実際に、ボランティア活動をされている人たちに、あまり年齢の壁を感じないのは、わたくしのみではないと思います。

編集ボランティアのページ

●担当編集ボランティア／築城基裕、日置雅夫、岩下茂子

地域と心をつなぐ「みんなプロジェクト」

～おしゃれで機能的な服や小物がほしい～

前号から引き続き、愛知県立一宮養護学校が取り組んでいる「みんなプロジェクト」に話を進めます。教頭先生に6年間も続くみんなプロジェクトについて話をお聞きしました。

「みんなプロジェクト」は、学校（子供たち、保護者、職員）を中心に地域の繊維関連機関や企業の方々の協力を得て、子供たちが必要とする衣服や小物をみんなで協力し合って作り上げる取組です。

ことの始まりは、平成20年度の「心をつなぐ学校づくり推進事業」で、障害がある人たちのニーズに対応した布地を開発し、車椅子用リクルートスーツなど、子供たちの夢がつまった着やすくておしゃれな「楽らくスタイル」の衣服が制作されました。

この取組は引き継がれ、子供たちが「楽らくスタイル」で社会参加することを目標に、生徒や保護者、職員、地域の方々が一丸となって衣服や小物の制作に取り組んでいます。この活動には、これまで大学や県内外の会社も参加協力してきました。

レディースコート

肢体が不自由な人が必要とする着やすくておしゃれな衣服や、姿勢保持、体温調節に役立つ小物はなかなか手に入りません。養護学校では、児童生徒のアンケートを基に、地域の多くの方々の協力を得て、いろいろと工夫をこらした衣服や小物を考案しています。

例えば、車椅子に座っている時に背中のシャツが飛び出さないようにズボンの股上を長くしたり、袖下や脇にファスナーを付けて着脱しやすくしたり、汗などの汚れを考えて抗菌性のある撥水素材の生地を使用したりしています。車椅子使用時に転倒防止ベルトが見えないようにデザインされた服もあり、一人一人の障害に合わせたオリジナルの服を作ることで子供たちの夢を実現しています。

今年度は、岡山県の企業とも協力してスーツなどを作っています。また、保護者や職員によって、子供たちが家庭や学校で活用できる保冷スカーフやクッションなどの小物作りも行われています。

ひんやりスカーフ

さらに、日頃お世話になっている地域の方々への感謝として、交流校、繊維関連機関、駅、消防署（葉栗消防出張所）などに、全校の子供たちが授業や交流行事等で制作したクッションを贈呈したそうです。

「みんなプロジェクト」が継続されることで、子供たちの自立と社会参加、地域の方々との心の交流がますます進むことを心より応援します。

かしの木音楽会2014

♪みんなでつなごう心の絆(きずな)♪

と　き：平成２６年２月１１日（火・祝）　午後１時３０分開演～３時終了予定
ところ：尾西グリーンプラザ・コンサートホール
出　演：ＮＰＯ法人ぎふ音楽療法協会
参　加：入場無料、事前申込み不要　どなたでもお気軽にご来場ください！
問合せ：かしの木の里　（TEL ６３－２１１１）